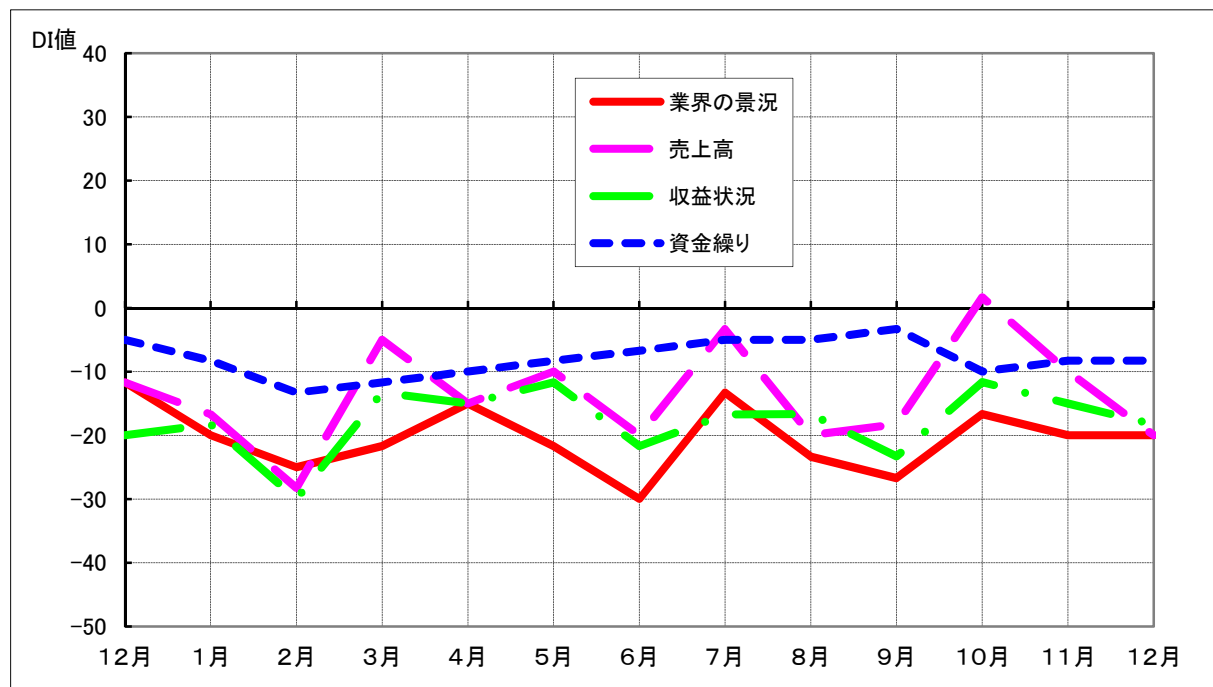


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成29年12月～平成30年12月

単位:ポイント



H29 H30

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業界の景況	-11.7	-20.0	-25.0	-21.7	-15.0	-21.7	-30.0	-13.3	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0
売上高	-11.7	-16.7	-28.3	-5.0	-15.0	-10.0	-20.0	-3.3	-20.0	-18.3	1.7	-10.0	-20.0
収益状況	-20.0	-18.3	-30.0	-13.3	-15.0	-11.7	-21.7	-16.7	-16.7	-23.3	-11.7	-15.0	-18.3
資金繰り	-5.0	-8.3	-13.3	-11.7	-10.0	-8.3	-6.7	-5.0	-5.0	-3.3	-10.0	-8.3	-8.3

12月のDI値は前月と比べ、2項目不変、2項目悪化であった。「業界の景況」DI値、「資金繰り」DI値共に不変という結果となり、「売上高」DI値は10ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイント悪化した。

前年同月比でみると1項目改善、3項目悪化であり、「収益状況」DI値は1.7ポイント改善、「業界の景況」DI値は8.3ポイント、「売上高」DI値は8.3ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイントそれぞれ悪化した。

連絡員からは、例年と比べ比較的温暖で降雪量も少なかったため建設・建築関連業界の出荷量、受注量は堅調に推移した。その一方で小売業・商店街を中心に季節ものの商品の需要減少との報告が寄せられた。全体的に原料高騰による収益性の悪化・人材不足・消費者の節約志向は継続中であり、苦戦が強いられている。

組合からの特記事項では、製造業においては変わらず原材料の高騰による収益性の悪化や人材不足による影響についての報告が多く寄せられたが、例年の12月と比べ比較的温暖で降雪量も少なかったため建設・建築現場の作業が止まることなく、木材・木製品製造業や生コン製造業の受注量は堅調に推移した。

非製造業においては、昨年の寒波と比較すると温暖であったため小売業・商店街を中心に季節ものの商品の需要減少との報告が寄せられた。全体的として消費者の節約志向は続いており、苦戦が強いられている。一方、建設業関連の袋セメント卸売業、左官工事業は堅調な出荷・受注量を確保している。